

### 事業引継ぎ概要

引継ぎ対象：(有)みねおかいきいき館の次世代への株式譲渡  
譲渡者：(有)みねおかいきいき館 創設者（株主7名）（相談時80歳以上）  
地場製品の紹介販売、農業・酪農体験 業歴20年 資本金350万円  
日本の酪農発祥の地にある地域交流拠点（民営施設）  
譲受者：南房総市大井地区の次世代の有志  
譲渡方法：株式譲渡  
引継ぎ期間：令和元年5月～令和元年8月31日（株式譲渡契約書調印）  
支援方法：3次対応案件（センター内マッチング）

### 事業引継ぎまでの経緯

- ・(有)みねおかいきいき館は、平成10年に南房総市大井地区の60歳代の酪農家7名が株式出資し地場製品の紹介販売、都市部青少年の農業酪農体験などを展開し、地域の核を担って来ました。しかし、創設当時のメンバーも20年の歳月が経過し、高齢化が進行しました。そこで次世代へのバトンタッチを模索し、地域の若手に承継を呼びかける段階となりました。
- ・南房総市大井区長H氏がその要望に応え、地域の中から次世代の出資者を募り、新しいメンバーでみねおかいきいき館の存続を検討し始めました。
- ・相談先として朝夷商工会（千葉県南房総市）が千葉県事業引継ぎ支援センターを紹介。
- ・当センターは「株式譲渡」の基本的な流れ、注意点、契約書作成方法等をアドバイスしたと伴に、新旧株主の意見交換会へもアドバイザーとして参加し、公平、中立な立場から双方の意見を真摯に聞き取り、的確なアドバイスした事で参加者の不安材料を取り除く事が出来ました。
- ・これにより株式譲渡契約が合意に至り、新たな地元のメンバー20名でチームが編成されました。
- ・結果として、みねおかいきいき館が承継されたことで①大井地域に根差した拠点の維持②新旧スタッフの人的交流③時代に即した効率的な運営④交流人口の増加による地域の活性化が、守られ地方創生を自らの力で取組むキッカケが出来ました。

### 事業引継ぎ支援センターでの対応内容

- ①センターの概要・M&Aの基本、流れを説明。株式譲渡に整理が必要な事項等アドバイス。
- ②新旧株主の意見交換会へ公平、中立な立場での参加。不安事項に対するアドバイス。

